



慶野 常夫 議員(政友みらい)

災害時における避難について

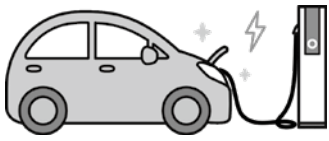
Q 災害時に停電が発生した際、当該地域の日産販売会社が保有する電気自動車を選難所や自治体が指定する場所に派遣し、電気自動車から給電器を介して電力供給を行うことで、災害時においても継続して避難所の円滑な運営を図り、市民の生命及び身体の安全を守ることができると。災害時の安定した電力供給として、電気自動車(EV)からの電力供給が可能な民間企業などと災害協定を締結することが望ましいと考えるが、見解を伺いたい。

A 行政経営部長

電気自動車からの電力供給については、メリットが多く、大変有効な停電対策になると考えています。災害時に電気自動車を提供できる民間事業者との災害協定締結について、今後、鋭意努力したいと考えています。

その他の質問

☆職員の在宅勤務の実施とサテライトオフィスの状況について



早川 貴光 議員

GIGAスクール構想等オンライン学習について

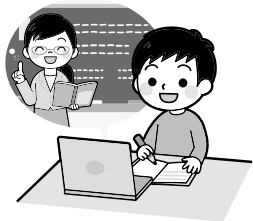
Q ネットを使ったオンライン学習に取り組む始め、ネット回線のないご家庭も考慮し、実態を調査していることを確認している。今後、新型コロナウイルスの第2波に備え、学習権の保障を行うためにはオンライン学習の整備が必須であると考え、今後計画されている取り組みについて伺いたい。

A 教育長

オンライン学習の一つとして、休業中の5月下旬からドリル学習を開始し、今後1年間継続する予定です。また、インターネット環境の整っていない家庭に対応するため、家庭で利用できるモバイルルーターを整備するための補正予算を今議会に提出します。インターネット環境の提供は教育センターが窓口となつて個々の相談に対応していきたいと考えています。

その他の質問

☆地方創生臨時交付金について
☆コロナ感染症対策及び熱中症対策の複合対策について



若田部治彦 議員(公明党議員会)

新型コロナウイルス感染症対策における次亜塩素酸水生成装置導入について

Q 消毒液不足が深刻であることやエタノールにアレルギー反応を起こす人がいることなどを踏まえ、市庁舎に次亜塩素酸水生成装置を設置すべきと考えるが今後の取り組みを伺いたい。

A 総合政策部長

庁舎は、多くの人が利用し、いろいろなものに触れる機会が多いため、大量の物品消毒剤を必要とします。庁舎では、物品消毒剤の一つとして次亜塩素酸水を使用していますが、今後の感染者の推移や感染対策の動向により、その製品が品薄となつて全く手に入らない状態になることも想定されます。その場合、庁舎内に次亜塩素酸水の生成装置を設置すれば、原材料を購入するだけで製造が可能となります。今後、生成装置の導入については、費用対効果や検査機関や大学の研究結果を十分考慮しながら、引き続き検討したいと考えています。

